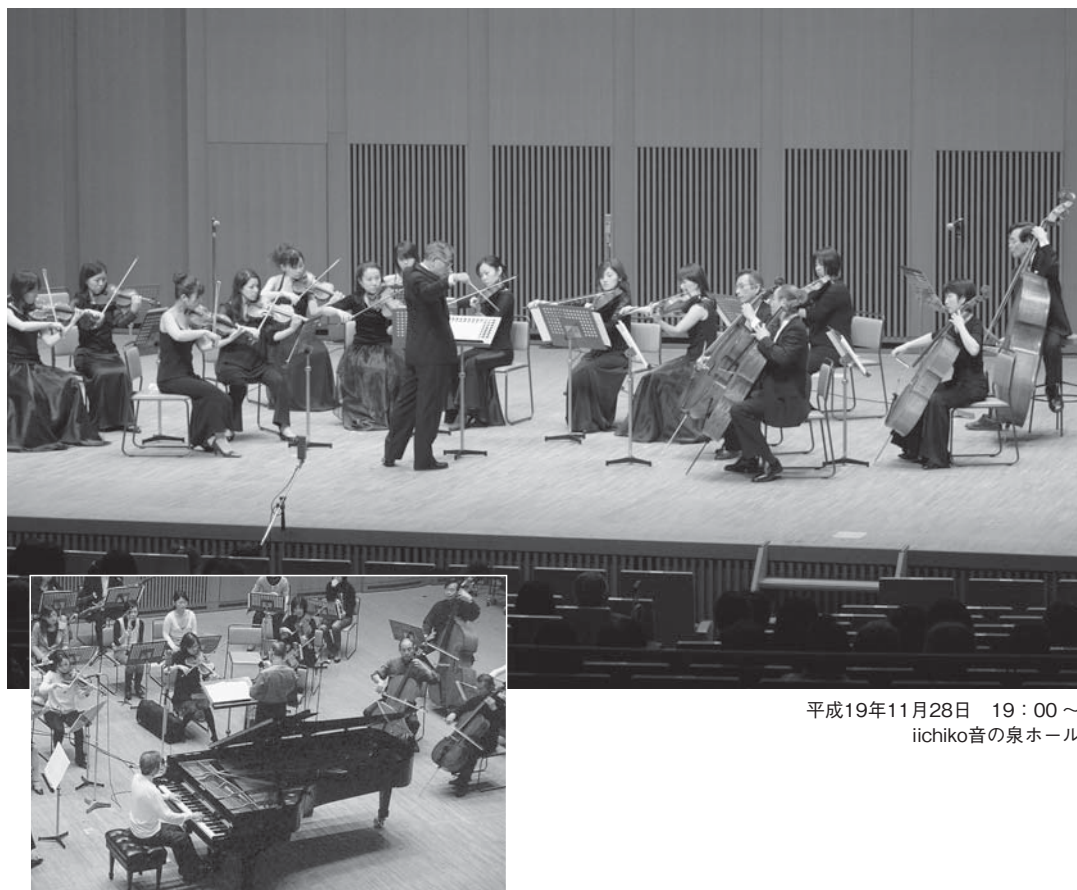


# 芸術振

特定非営利活動法人 大分県芸術文化振興会議  
通巻第124号 2007（平成19）年12月31日発行



平成19年11月28日 19：00～  
iichiko音の泉ホール

## 文化祭閉幕

第9回大分県民芸術文化祭閉幕行事として大分県室内楽協会第11回定期演奏会が、平成19年11月28日(水)19：00からiichiko音の泉ホールで開催された。

ピアノに東京芸術大学名誉教授 辛島輝治氏、ヴァイオリンに川瀬麻由美氏、フルートに麻生恭子氏、ソプラノに清家麻衣氏を招いて公演。清々しい演奏で集まった五百余名の聴衆を魅了した。

なお、大分県民芸術文化祭は12月24日「冬のコンサート」を最後に全ての行事を終了。今回も多く参加者、鑑賞者を集めて開催。平成20年度の第10回開催に向けて企画部会が始動している。

## 平成19年 秋の会員受賞

|                     |                    |                  |
|---------------------|--------------------|------------------|
| 文部科学大臣表彰 地域文化功労者 …… | 大分県吹奏楽連盟           | (理事長 工藤紘喜)       |
| 知事表彰 学術・文化振興 ……………  | 大分県児童文化研究会         | (代表 首藤悦爾)        |
| 知事表彰 学術・文化振興 ……………  | NPO法人大分県書写書道指導者連合会 | (会長 牧 泰正)        |
| 大分合同新聞文化賞 ……………     | 佐藤朱音               | (大分県芸術文化振興会議理事長) |
| 第47回久留島武彦文化賞団体賞 ……… | 豊っ子の会              | (代表(株)菊家会長 斉藤 智) |
| 志鳥賞 ……………           | 大分県県民オペラ協会         | (会長 小長久子)        |



### 「文部科学大臣表彰地域文化功労者」を受賞して

大分県吹奏楽連盟理事長 工藤紘喜

当連盟は、この度ばかりも文部科学大臣から「地域文化功労賞」を授与され、身に余る光栄と恐縮するとともに役員一同喜びを分かち合っております。ご推薦いただきました大分県、県教育委員会をはじめ、多くの関係者の皆様に心より感謝とお礼を申し上げます。

連盟は創立以来45年を迎え、現在では小・中・高・大学・職場・一般の計110団体、会員数約5千名の加盟により組織されています。年間活動事業として、全日本に直結した各種のコンクールやフェスティバルを開催するほか、各種の講習会を開催し学習研鑽活動にも取り組んでおります。この度の受賞は連盟のこうした諸活動はもとより、各団体がそれぞれの地域において、市民に密着した演奏活動を行ってきたことが評価されたものと察して

おりますが、これまで各指導者や会員たちが積み重ねてきた努力や成果が報われたものの思いで一杯です。

今回の受賞を機に心を新たに、吹奏楽の特性を生かして、更に地域に貢献できる活動を積極的に取り組んでいきたいと思っております。

特に来年は、2巡目の「大分国体」が開催されます。四十数年前の大分国体が切っ掛けで花開いた吹奏楽連盟が、再び国体を迎え、その総合開閉会式での式典演奏と演技を担いますが、この間に築きました成果を遺憾なく発揮し、重責を果たしたいと思っております。今後とも、吹奏楽活動を通して、連盟の大多数を占める青少年の健全育成と地域文化への貢献に努めてまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 平成19年大分県知事表彰を受けて

特定非営利活動法人・大分県書写書道指導者連合会会長 牧 泰正

「あなたが大切、みんなのために」を合言葉に17年間。県下の書道文化向上、発展と未来の大分県を背負う子どもたちのために、同志とともに、企むことなく媚びるでなく、文字どおり、非営利活動をしてきたことが、図らずも認められこの上ない喜びでいっぱいあります。広瀬知事はじめ関係の皆様に厚くお礼申し上げます。

本会の中心行事「大分県小中学生書道チャンピオン大会」は、平成19年度で第12回を迎

えます。この充実発展には共催の大分合同新聞社の絶大なるご尽力があったからこそと感謝いたします。「直前課題発表、手本なし、用紙5枚、1時間内で自書自選」の独力挑戦と「千人一心が醸成する、紙を扱う音のみの静逸な空間の体感」を、現代世の中に創出するべく精力的に取り組んで参ったところであります。

「成事毎在窮苦日、敗事多因得意時」(『菜根



譚』を自戒として、会報誌『大分県書道』『大分県書写』に集う会員諸氏とともに役員一丸となって、受賞は途中給水の力水と受けとめ、歩々起風の気で本会の活動を継続発展していきたいと思っています。マラソンにゴールはあっても本会の活動にはゴールはありません。ご指導ご支援の程よろしくお願い申し上げ、受賞のことばといたします。

たいと思っています。マラソンにゴールはあっても本会の活動にはゴールはありません。ご指導ご支援の程よろしくお願い申し上げ、受賞のことばといたします。

## 知事表彰を受賞して

大分県児童文化研究会 首藤悦爾

この度の県知事表彰、誠にありがとうございました。うれしさいっぱい、会員一同、心より厚くお礼を申し上げます。

児童文化とは子どもの心を育てるはたらき「お話をする・聞く・読む」の目あてをもってゴーイング マイ ウェイ。その主要行事は、

1. 日本童話祭 童話を中心としたイベント。  
くす町全域でご披露、日本各地より約4万人の人達が喜色満面の姿をそろえる。
2. 県児童文化祭 この会は、年1回県内各地を巡回公演、今年で44年目を迎える。県芸術文化振興会議主催の参加行事として、参画会場は、いつも親子連れの人々で満席。
3. 大分おはなしの会 毎年30名内外の園児

や小学校低学年の子どもが集まる。年10回、創設以来27年。民話・昔話・紙芝居など同種同名の作品を含めて約1,300話。そして会員数は、1万名を記録している。

4. 芸術文化キャラバン 県芸術文化振興会議の一行事として定着。県内へき地の公演希望校を巡回上演。好評を博している。

この他、学校や諸団体からの希望があれば出前出演、ご要望に応えている。

このようにして娯楽と教養の両面から「たのしい子ども会」の育成に努めている。



## 2008年1月～3月の文化行事

| 実施時期       | 事業名                                            | 会場                      | 主催者                  |
|------------|------------------------------------------------|-------------------------|----------------------|
| 1月5日～13日   | OASISアーティストプロデュース<br>「川野美華展～ワタシ森」              | iiichiko総合文化センター県民ギャラリー | （財）大分県文化スポーツ振興財団     |
| 1月6日       | 第23回大分市少年少女合唱団定期演奏会                            | iiichiko音の泉ホール          | 大分市少年少女合唱団           |
| 1月19日～20日  | 演劇ユニット水中花 旗揚げ本公演                               | 大分市コンパルホール              | 演劇ユニット水中花            |
| 1月20日      | 東京混声合唱団 大分特別演奏会                                | iiichikoグランシアタ          | （財）合唱音楽振興会           |
| 1月22日～27日  | 水彩連盟大分支部展                                      | 大分市アートプラザ               | 水彩連盟大分支部             |
| 1月23日      | 九電文化の森コンサート                                    | iiichikoグランシアタ          | 九州電力株式会社             |
| 2月10日      | 大分県庁職員吹奏楽団定期演奏会                                | iiichiko音の泉ホール          | 県庁職員吹奏楽団             |
| 2月11日      | 平成19年度大分県合唱講習会                                 | 大分市コンパルホール              | 大分県合唱連盟              |
| 2月18日      | 第33回日本フィル in Kyusyu                            | iiichikoグランシアタ          | 日本フィル大分公演実行委員会       |
| 2月22日～3月2日 | OASISアーティストプロデュース<br>「206号室～四畳半のポートレート～加藤亮の場合」 | iiichiko総合文化センター県民ギャラリー | （財）大分県文化スポーツ振興財団     |
| 3月2日       | 第15回佐伯市人形劇フェスティバル                              | 佐伯市蒲江児童館                | 大分県人形劇サークル協議会        |
| 3月6日～11日   | 華道家元池坊大分支部創立80周年<br>青年部15周年記念花展                | トキハ百貨店8階南催事場            | 華道家元池坊大分支部           |
| 3月15日～23日  | OASISアーティストプロデュース<br>「pattern of street～平川渚展」  | iiichiko総合文化センター県民ギャラリー | （財）大分県文化スポーツ振興財団     |
| 3月18日～23日  | 第29回九州国画写真展                                    | 大分県立芸術会館                | 九州国画会写真部             |
| 3月20日      | 第55回歌帖社全国短歌大会                                  | 豊泉荘（別府市）                | 歌帖社                  |
| 3月23日      | 第15回音団協定期音楽祭「いろいろな音を楽しむ会」                      | iiichiko音の泉ホール          | 大分県音楽団体協議会           |
| 3月23日      | 第12回九州ハンドベルフェスティバル                             | 北九州市                    | 別府溝部学園短期大学ハンドベルリンガーズ |

（大分県芸術文化基金補助事業・大分県芸術文化振興会議後援事業から）

# 有馬頼底猯下にお会いして

去る11月23日、本会の第1回自主事業として行う講演会の講師としてお迎えする金閣寺住職有馬頼底猯下が日田市の西山妙音大辯財天の秋季お火焚祭にお出でになりました。

講演をお願いした時、本会の理事長からの御挨拶はこの時にお会いしてということにありましたので、芸振から佐藤理事長、日名子事務局長、戸口の3名が法要にお参りし猯下と昼食をご一緒いたしました。

西山妙音大辯財天は有馬頼底猯下の日田時代の同級生である梶原時男氏を願主として日田の相親会の方々の熱い思いで4年前に建立され、有馬猯下と等身大の辯財天座像をお祭りしてあります。弁財天は芸能の神様でもありますので芸振の皆様にとってもつながりのある神様だと思います。

法要は有馬頼底老大師を導師とし、御出仕は京都の相国寺派御住職4名、京都仏教会から長沢事務局長、猯下が日田時代に修行をさ



有馬頼底猯下(右)と戸口理事(左)

れた岳林寺の御住職をはじめ地元からも3寺の御住職が御来賓寺院として参加されていました。

秋晴のすがすがしい空気の中、三隈川を見下ろす高台の御堂で大般若転読・焼香・消災呪・大悲呪・有馬猯下の法話などおごそかに行われ、普段あまり経験することの出来ない貴重な時間でした。私たちも祈願の護摩木をお供えし厄払いと芸振の発展をお祈りしていただきました。

(戸口勝山)

1月14日の講演会の会場ロビーにおいて、京都仏教会所蔵の  
墨蹟の展示会を行います。

奈良東大寺や京都建仁寺等のご住職の墨蹟15点を展示、ご希望の方に販売します。

## 参加者を一人でも多く！ 呼びかけが芸振の新たな活動の一步です

芸振の参加団体の方々に入場券の売りさばきをお願いしました。割り当ての意識で団体の経費からお支払いをしていただくことも有難いのですがNPO法人としての活動を考えた時、参加のお願いをする時に新しい芸振のことをお話するチャンスでもあります。そしてその活動こそが芸振の新たな活動の一步だと思います。これまでと違った会員一人ひとりの行動によって芸振の輪を広げ運動を高めていきましょう。

## 理事長 が聞く vol.2

### にこやかで気さくなお人柄

有馬猥下は背が高く堂々たる体格の方で初対面の方にも旧友にでもお会いしたかのように親しげににこやかに話をされます。どなたに対しても垣根というものが無いのでしょう。しかし近寄り難い威厳とやさしい眼の奥に光るものがオーラとして感じられます。

日田に来られた時の猥下は特別に童心を呼び起されるのでしょうか、時折日田弁になったりもします。法要が終わり昼食会でゆっくろ話をと計画していたのですが急に予定が変更になり昼の御食事が40分位と慌だしくなったのですが「もうあまり色々とはいりませんよ。うどんか何か一杯あればそれで結構です」「私はね、朝は5分、昼は10分で済ませることも出来るんですよ」そうおっしゃいながら

出されたものを豪快に口に運びます。「ものは大事にしないとですね、全ていただくことです。お酒もいいですね」。

以前、日田の遊船でご一緒出来た時、大きなアユの塩焼を頭からガブリ、三口位で食べられたのを見てびっくりしたことがあったと戸口理事が話されていたのを思い出していますと、「自然のもの、生きたものすべて食べられるものは残さず食べます。それがそのものに対する感謝の心なんです」とおっしゃいました。



芸振理事長 佐藤朱音

## 次号予告

日田市民文化会館「パトリア日田」が開館。12月23日、多くの市民を集め、盛大にオープニングセレモニーが行われました。

大ホールやまびこでは子どもたちによる神楽や合唱、2台のスタインウェイピアノのお披露目、またギャラリーでは日田市出身の日本画家岩澤重夫氏の個展が開催され、ロビーでは呈茶も催され、多くの人でにぎわっていました。

機関誌芸振125号で、施設の内容など、紹介記事を掲載する予定です。



岩澤重夫展のオープニング風景

## 園田清秀・高弘先生メモリアル

日本を代表する世界的ピアニスト園田高弘先生とお父様の園田清秀先生のメモリアルを大分の地に造ろうとクラシック音楽関係者が十数名集まったのが2005年の春でした。2005年5月ピアノの先生方を中心に19名の方に「園田清秀・高弘先生を偲ぶ会」の委員になって頂き4回の「コンサートシリーズ」を催し広く県内外の皆様へ参加を呼びかけていくこととなりました。

2006年4月「園田清秀・高弘先生メモリアル設置委員会」発足。

2006年11月レリーフのデザイン・プロデュースを務めて下さる外尾悦郎氏（サグラダ・ファミリア教会「バルセロナ」の主任彫刻家）が来県。現場を視てアドバイスして下さいました。福岡在住の英一郎氏が白磁で制作する事となり昭和鉄工に施工を依頼。

コンサートは2006年1月21日、4月1日、8月26日、11月20日の4回を高弘先生と縁の

深い「音の泉ホール」で開催。

演奏者は大分県在住のコンクール受賞者を中心にロンドン・パリ・アメリカ・東京から参加頂き総勢21名となりました。

2007年5月12日「園田清秀・高弘先生メモリアル完成除幕式」の後、九州交響楽団を招いて「メモリアル完成記念演奏会」を開催し設置委員の活動は全て終了しました。総入場者3,521人でした。

県内外の園田ファン、音楽愛好家からのご好意ご援助を頂き立派なメモリアルが出来、感謝の念で一杯でございます。

園田高弘先生のメモリアルレリーフは現在「音の泉ホール」のロビーに清秀先生のレリーフはご生誕地の大分市中央町「園田歯科医院」の壁に設置されています。除幕式の際、園田春子夫人の「これで園田も大分の人間になりました」とのお言葉に私は胸が熱くなりました。

「園田清秀・高弘先生メモリアルレリーフ設置委員会」  
事務局長 村上信子



「園田清秀・高弘先生を偲ぶ会」から、大分県芸術文化振興会議に対して、10万円のご寄附を頂きました。大変ありがとうございました。

## 高山先生を偲んで

巨星高山辰雄先生が他界されて2ヶ月も過ぎてしまいました。わが国の美術界にとっては勿論、大分県にとっても偉大な指導者を失った悲しみは例えようも無く深いものです。

独自に開発された技法にあるあの燦し銀のような絵肌には、どの作品にも先生の深い哲学と高潔な人柄が滲み出ています。作品の多くが郷里の大分をテーマにしている事からも大分の自然・風物をこよなく愛された作家であった事がうかがえます。

また特筆すべきは、故郷大分の若い子どもたちへの慈しみの目は筆舌に尽くせないもの

でありました。高山辰雄賞ジュニア県美展は、高山先生が25年前に受賞された文化勲章の年金を元に創設され、以後毎年開催されてきた全県規模のものですが、体調のよくない時以外は必ず受賞式に帰ってこられました。「子どもの絵は良いなあ。到底こんなには描けんなあ…」など毎回呟いておられました。また休憩時の雑談の折には「大分のように綺麗な自然はどこにも無いよ」「ホッとするねー」と心底酔ったような感嘆のお言葉など今でも私の耳にまざまざと残っています。

県美協会長・県造形研会長 渡辺恭英

# 会員活動紹介

## 大分能面会

代表者：門脇幸造

### 1. 生い立ち・紹介

昭和53年、安東氏を師とし能面製作を目的に大分能面会として発足、現在門脇氏が指導。

### 2. めざすもの

実際に能舞台で使用できる能面製作と、会員相互の研鑽、親睦をはかる。

### 3. そのため日常努力していること

会員相互のコミュニケーション。各自、自宅での研修、製作の奨励。

### 4. 活動内容

毎月4回の能面製作教室と、あらゆる機会をとらえ県内外の能面展示会見学、書籍、写真等を基に研修、評価の話し合い。

2年ごとに、大分能面会による能面展示会を開催し、多くの皆様に能面に対して理解、親しみを持って頂けるよう努力したい。

### 5. アピールしたいこと

出来るだけ多くの能面に接し、そこから日本古来の能、狂言等に興味と親しみを持ってほしい。

### 6. あなたにとっての芸振・とは？

県内外の芸術文化振興の「要」と思いたい。

### 7. 芸振にのぞむこと

我々は一人でも多くの愛好者をふやしたい。その為のPR、情報提供を希望します。



## 大分県長唄連盟

代表者：会長 杵屋六昇

### 1. 生い立ち・紹介

昭和45年、市主催の文化祭に出演を機に各流派が一堂に会し、昭和60年大分県長唄連盟として発足。

### 2. めざすもの

長唄連盟結成25周年の記念演奏会を芸術文化祭の事業の一つとして行う事。

### 3. そのため日常努力していること

連盟会員一同一丸となって日常の練習はもとより親睦も兼ね一層の意識向上を図る。

### 4. 活動内容

芸振・市の主催する行事に参加する一方、それぞれの社中での発表会、隔年に連盟主催の演奏会又東京よりプロの演奏家を招いての演奏会、若年層への浸透を図るため小中学校における「伝統芸能ふれあい教室」にて長唄三味線のすばらしさを紹介等多方面で活動。

### 5. アピールしたいこと

日本の伝統芸能である長唄三味線の継承普及を図るも、歌舞伎や日舞の舞台から離れての素演奏のすばらしさ。

### 6. あなたにとっての芸振・とは？

私達会員にとっての力強いネームバリュー！！

### 7. 芸振にのぞむこと

NPO法人になって益々会員との相互関係を密にし、今後の更なる飛躍を期待します。



## 新 入 会 員 紹 介

- **個人会員** 河野信雄（美術）、瀬井眞之（美術）、安東道明（美術）、田島省一（美術）、小犬丸寿昭（美術）、佐藤孝之（美術）、田山 伸（文芸）

## お 知 ら せ

### 大 分 県 文 化 年 鑑

芸振のNPO法人化を機に、前回2006年版から大分県文化年鑑の編集を変えております。会員の皆さんはどのような感想をお持ちでしょうか？ 今後の編集方針の参考にいたしますので、ご意見ご希望などをお寄せください。

加盟団体の皆さんへは、2007年版の原稿依頼をお送りいたします。執筆について、ご不明な点は下記事務局までお問い合わせください。

なお、締め切りは平成20年4月10日となっておりますが、お早めの提出をお願いいたします。

### J A フーズ おおいた協賛による飲み物の割引、配達について

会員の皆さんにはすでにお知らせをしておりますが、芸振事務局取扱に限り、飲み物を会員価格にてお取り次ぎしております。会議、公演等に是非ご利用ください。

例：こだわり緑茶（490g×24本）希望小売価格**3,600円**のところ**2,100円**（消費税別）  
詳しくは同封のチラシをご覧ください。

### 文化芸術に関する情報をお寄せください

芸振では、機関紙やホームページなど補助事業や後援事業など会員の皆さんの実施する事業を中心に文化情報をご紹介します。

これからもさらにきめ細かな情報を掲載していきたいと思いますので、会員の実施事業など、是非皆さんからの情報をお寄せください（様式同封・ホームページからも取ることができます）。お待ちしております。

### 平成 19 年度の会費の納入はお済みですか

芸振は、皆さんの会費で運営されています。お早めの納入をお願いします。

### 特定非営利活動法人 大分県芸術文化振興会議

〒870-0035 大分市中央町3丁目6-13 岩尾文具別館2階  
TEL：097-536-0522 FAX：097-536-6188 E-mail：info@geishin.jp URL：http://www.geishin.jp/